

## 平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成18年4月現在)を抜粋

機 関 名	名古屋大学	整理番号	d005
1. 申請分野(系)	人社系		
2. 教育プログラムの名称	人文学フィールドワーカー養成プログラム		
3. 関連研究分野(分科)  (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 人文学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (文学、史学、哲学、言語学、芸術学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([ ]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 文学研究科人文学専攻 (博士前期課程) 文学研究科人文学専攻 (博士後期課程)	<u>研究科長(取組代表者)の氏名</u> 町田 健	
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像(わかりやすく、具体的に記入してください。)			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>名古屋大学は、研究と教育の創造的な活動を通じて「世界屈指の知」を創生し、「論理的思考力と想像力に富んだ勇氣ある知識人」を育てることを使命としている(名古屋大学学術憲章)。たゆまぬ努力を積み重ねて、豊かな文化の普及と科学技術の発展に貢献し、既存の権威にとらわれない自由・闊達で批判的な精神に富む学風を築いてきた。</p> <p>この学風の上に、本学は、従来の専門に基づく領域型8研究科の拡充(大学院重点化)を行った。また、国際化や環境問題など時代のニーズに即応する学際的な研究を目指し、文理融合型を中心とする5研究科(独立大学院)を新設した。「中期計画」に、「領域型分野及び文理融合型分野の専門教育の充実」を掲げ、大学院教育の実質化に努めている。</p> <p>本学は現在、大学院生の14%(平成17年度)が留学生であり、国際的な通用性をもつ高い質の大学院教育を目指している。本事業の推進については、ノーベル賞の受賞者3名を含むインターナショナルアドバイザリーボード(国際諮問委員会)で厳正な評価を受けつつ、大学として強力に支援することを期している。</p>			

機関名

名古屋大学

整理番号

d005

## 5-(2) これまでの教育研究活動の状況(これまでの改善点と、今後の課題について)

文学研究科人文学専攻は、創設以来中部圏における基幹的な教育研究拠点として、人文学の諸分野に優秀な人材を輩出してきた。とりわけ平成14年度からは、21世紀COEプログラム「統合テキスト科学の構築」の推進を通じて、研究の目覚ましい高度化と国際化を図りつつある。教育面では、平成17年度に研究科が養成する人材を「人文学的な知の伝統に立脚することで現代社会の課題に立ち向かう足腰の強い研究者」と位置づけ、博士後期課程における「特別研究」の必修化、国際的に活躍し本研究科と交流実績のある研究者から構成される外部支援組織(アカデミック・アドヴァイジング・コミッティ)の設置準備など、この理念を実現するための具体的なシステム改善に着手している。

しかし、文学研究科は伝統的に研究の対象となる領域(専門)を単位として組織編制され、教育のプロセスも概ね各専門の判断に委ねられてきた結果、ともすれば蝸壺的な閉塞状況のなかで学位論文を修業年限内に完成できないケースも見られることは事実である。一方で、本研究科は、文学、歴史、思想などの領域にわたって、広義のフィールドワークという方法論を共有するスタッフを擁しており、領域ではなく方法によって通貫する効果的な教育システムの確立が喫緊の課題となっている。

## 5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(5-(2)を踏まえた大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組、発展的展開のための計画、及びこの取組によって改善が期待される点について)

**[大学院教育の実質化]** 博士前期課程では、個別専門分野の特性を考慮しながらも、人文学へのより広いパースペクティヴを備えた研究者を養成するために、構造化されたコース・ツリーを設定する。また、博士後期課程では、課程博士論文提出のための前提となる単位認定論文に発展的な段階を設け、論文提出への研究の構築的なプロセスを明確化するとともに、新たに導入された「特別研究」の履修と複数教員による指導を通じて、論文完成までの自発的な研究活動をきめ細かく支援する。

**[発展的展開のための計画]** 従来の専門領域にもとづく履修コースに加えて、伝統的な学問の成果を継承しながらも自らの足を使って現場の知を体系化することのできる「人文学フィールドワーカー」を養成する5年一貫の履修コースを設定し、「領域」から「方法」へという教育組織の改革を実現する。

**[改善が期待される点]** 人文学フィールドワーカー養成コースを主軸として教育課程を再編することにより、研究科のミッションに即した人材の養成をより効率的に行うことができる。

6. 履修プロセスの概念図(履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)

# 人文学フィールドワーカー

人文学の伝統によって研ぎ澄まされた知性を武器に、  
自らの身体によって現場の知を体系化できる行動的な研究者

アカデミック・  
アドバイジング・  
コミッティ

助言

教育研究  
推進室

公  
支  
援

研究プロジェクト

参  
加

外国語による論文執筆・発表の指導

複数指導教員制

【フィールドの例】  
東南アジア伝統社会

エジプト古代遺跡

後期

立案・  
主体的実施型

フィールドワーク

参加・  
トレーニング型

前期

アフリカ農耕社会

真福寺大須文庫

フランス国立図書館

課程博士号取得

課程博士論文指導

外国論文作成法

フィールド調査実習 B

外国語発表法

フィールド人文学応用論

専門分野別特別研究

修士号取得

修士論文指導

フィールド調査実習 A

調査方法論演習

フィールド人文学基礎論

外国語 発表法

人文学基礎演習

名古屋大学文学部

他大学学部

機 関 名

名古屋大学

整理番号

d005

< 審査結果の概要及び採択理由 >

「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化(教育の課程の組織的な展開の強化)を推進することを目的としています。

本事業の趣旨に照らし、

①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか

②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか

の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。

なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。

[特に優れた点、改善を要する点等]

・従前ややもすれば現地調査を忌避してきた学問分野で、このようなフィールドワークを重視する教育課程が整備されることは歓迎すべきことである。特に、従来型の「主題」による教育の中に「方法」を軸とする横断型のコースを設けたことは高く評価できる。

・また、学生に公募による調査資金配分システムを導入したのも優れた取組と言える。